

序

長年にわたり、児童福祉と幼児の栄養問題に関わってきたことから、幼児期からの食育の重要性を感じる一方で、適当な指導媒体の少ないことを痛感してきました。そこで、平成8年に「こどもの食教育 1. チャート編」を、次いで平成10年に「こどもの食教育 2. 紙芝居・ペープサート編」を刊行し、多くの方々から好評を得ることができました。

ところで、幼児の食育を考えるに当たっては、家庭の協力、とりわけ母親の協力が欠かせません。そこで今回は、保育園・幼稚園または学校と母親との連携を密にするための媒体としての役割を果たす「給食だより編」を刊行することになりました。

このシリーズの中でいちばん簡単なように考えていましたが、限られた紙面に興味をもって読んでもらえるように、季節の言葉、栄養、食品、食品衛生、健康等の幅広い情報を、イラストを含めてレイアウトすることは予想外に大変な作業であり、当初の予定より遅くなってしまいました。

また、給食だよりには、献立情報を掲載するのが一般的ですが、献立を入れると紙面のレイアウトが難しいことと、これからは食育に必要な情報を提供することを重視すべきでは……という考え方に立って、献立情報は除きました。

本編が既刊の2編と大きく異なるのは、対象の違いだけではなく、そのまま模写して使用できるようにしたことです。このため、カラー印刷はしないで、2色刷りにしました。なお、利用方法の細部については、“本書の利用の仕方”を参考にして下さい。

最後に本書の出版に多大なご尽力をいただいた第一出版の各位に心から感謝の意を表します。

平成12年7月

山崎文雄